

**事業者向け**

**放課後等デイサービス自己評価表**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **チェック項目** | **はい** | **どちらともいえない** | **いいえ** | **改善目標、工夫している点など** |
| 環境  ・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ |  |  |  |
| ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ |  |  | １日、3～5名職員配置をしています。 |
| ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ |  |  |  |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ |  |  | 日々の業務等、職員全員で討議し、実践、振り返り、評価を行っています。 |
| ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 〇 |  |  |  |
| ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ |  |  | 令和3年2月より事業所のホームページを作成しました。 |
| ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか |  |  | ○ | 外部評価等は実施出来てはいませんが、機会があれば積極的に実施していきたいと思います。 |
| ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ |  |  | 社内の研修の実施、外部の研修への参加をしています。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ |  |  | 本人・保護者のニーズを聞き取り、又、日々の様子を観察し計画書を作成しています。 |
| ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか |  | ○ |  | 簡易のアセツメントツールを使用していますが、今後はもっと掘り下げたツールを検討中です。 |
| ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ |  |  | パッケージ化や料理作りといった新たな取り組みを、計画・実施しています。 |
| ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ |  |  | パッケージ化を取り入れ、遊びの幅を広げています。 |
| ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ |  |  |  |
| ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | 〇 |  |  | 職員同士の情報共有を行い、子供の状況に応じて対応しています。 |
| ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ |  |  | お迎え前には申し送りを行い、前日の様子や当日の打ち合わせをしています。 |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか |  | ○ |  | 基本は翌日に申し送りを行っていますが、急を要する事や重要な事がある時は、その日に申し送りを行い、対応をしています。 |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ |  |  |  |
|  | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ |  |  |  |
| ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ○ |  |  |  |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ |  |  | 支援会議には、その子どもさんに詳しい職員が参加して情報・意見交換を行っています。その後、会議内容を全職員に報告をしています。 |
| ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ |  |  | 行事予定等は、保護者の皆様にその都度提出してもらい把握しています。それでも不明な  箇所がある場合は、学校に連絡して確かめるようにしています。 |
| ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか |  |  | ○ | 該当者がなく、未実施です。 |
| ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか |  | ○ |  | 子どもさんの保護者や児童発達支援事業所、相談支援員から就学前の様子についてお話を聞いています。 |
| ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 〇 |  |  |  |
| ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 〇 |  |  | 専門機関の研修への参加をしています。 |
| ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか |  | 〇 |  | 公園で地域の子ども達との交流があります。 |
| ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ○ |  |  |  |
| ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ |  |  |  |
| ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか |  | 〇 |  | 相談があった際には、保護者にアドバイスや助言を行っています。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉚ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ |  |  | 見学時に支援内容、契約時に重要事項・契約書の説明を行っています。 |
| ㉛ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ |  |  | 保護者の方が、相談しやすい環境作りに努め、必要に応じて電話や面談を行っています。 |
| ㉜ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか |  |  | ○ | 保護者会等は開催していません。 |
| ㉝ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ |  |  | 苦情があった際には、迅速な対応を心掛けています。 |
| ㉞ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか |  |  | ○ |  |
| ㉟ | 個人情報に十分注意しているか | ○ |  |  |  |
| ㊱ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 〇 |  |  |  |
| ㊲ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか |  |  | ○ |  |
| 非常時等の対応 | ㊳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 〇 |  |  | 各マニュアルは作成しており、職員間のみならず、保護者へ周知しています。 |
| ㊴ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ |  |  |  |
| ㊵ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ |  |  |  |
| ㊶ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか |  |  | ○ | 該当者がいない為、未実施。 |
| ㊷ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 〇 |  |  | 保護者に確認の上、対応をしています。 |
| ㊸ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 〇 |  |  | ヒヤリハットがあった際には職員間での共有、保護者への連絡を忘れず、どういったことがあったのか、どう対応したのか細かく、記入しています。 |